

平成26年度 漁村振興事業第2回選考委員会開催結果

1. 開催日時 平成27年3月19日(木)11:00
2. 開催場所 札幌市中央区北3条西7丁目
第1水産ビル8階道漁連第2応接室
3. 出席者 評議員長 平野正男
評議員 渋谷良二(北海道森林組合連合会専務理事)
山中千恵美(北海道水産会常務理事)
長澤俊一(事務局長)
事務局員 今田柳子

3. 協議事項

- ・議案第1号 平成26年度漁村振興事業実績報告について
第1次計画承認実績申請資料に基づき選考した結果、次の通り決定した。

計画承認実績 合計 12件 1,087,601円

- 1) 健康促進(計画承認 4件 183,000円) 実績申請 4件 197,445円
- 2) その他(計画承認 8件 888,272円) 実績申請 8件 890,156円

26年度実績 合計 90件 6,939,145円(予算額7,000,000円 差引残額60,855円)
1) 環境改善 40件 2,806,014円(予算額4,000,000円 差引1,193,986円)
2) 健康促進 21件 1,035,503円(予算額1,200,000円 差引164,497円)
3) その他 29件 3,097,628円(予算額1,800,000円 差引▲1,297,628円)

・その他

計画承認実績申請承認者へ追って交付決定通知の送付。給付は3月中に実施。

第1回選考委員会終了後、新たな実績申請なし。

(第1回選考会にて26年度交付予算をほぼ満たしたことから第2次募集は行っていない)

<選考内容特記事項>

1) ブランド化事業等の取り扱いについて(昆布ブランド等)

広く他府県にPRする面を公益性と見たが、漁協単独の製品については漁協の宣伝事業として実施することが妥当ではないか。

2) 公的助成(国・道・市町村等)がある事業との差額等当会申請について

公的助成のある事業については、助成内容により比率や残額により給付しているが、公的助成の減少分を肩代りする傾向が見受けられる。

以上のグレーゾーンについて次年度以降、申請対象条件の検討を要する。

3) 寄附金状況について

従来のように広く募金受付けを行う方向。 漁協関係者を中心に周知を図る。

近年の1事業年度の募金状況は、イオンデパート（株）より約130万円前後の募金。

漁協女性部関係者より約5万円～6万円の募金（ほぼ3件）

一般からは当年度300万円（2件）、1昨年100万円（2件）と多額の募金があったがその前はほぼ募金額なしである。